

【横浜よさこい祭り～良い世さ来い】企画書

横浜よさこい祭り実行委員会

神奈川よさこい組織委員会

神奈川では、横浜・相模原・湘南・小田原の4支部 24 のよさこい団体からなる「神奈川よさこい組織委員会」で、よさこいを通じて地域のコミュニティーを育て、「笑顔と元気」をテーマに人のエネルギーの魅力を発信し、地域を越えた交流の機会を作り、地域に根ざし、明るく楽しく暮らせる街を目指し、活動しています。

「横浜よさこい祭り～良い世さ来い」は、その活動を推進するべく平成 28 年より毎年開催し、今年で四回目を迎えます。回を重ねるたびに来場者も増え、横浜の祭りとしての認知度も高まってきました。

昨年三回目の開催にあたっては神奈川県から後援をいただくとともに、歌手の中村あゆみさんが本祭りの趣旨に強く賛同され、祭りにも参加いただくことができ、多くの方から更なる発展への期待の声をいただいております。

また、地域の商店、企業様からも多くの協力をいただくとともに、当日の運営には、多くの市民ボランティアさんの協力を多数いただき、確実に地域に根ざした祭りとして発展してきております。

参加者は関東だけに留まらず、遠くは九州からも参加いただき、街には子どもから大人までの笑顔と元気が溢れ、大きな交流の輪も一層広がっております。

今後も県内各地域に根付いたこの活動の輪を軸にして、長く続いていく祭りをしていきたいと考えています。

平成 31 年度第四回の開催は、新元号を記念し今までの経験を活かし、参加者、観客も一層楽しめる祭りの開催を目指すとともに、商店・企業様にも更にご理解いただき、祭りを通して市民活動を活性化し、子どもたちの育成、年齢を超えた交流、そして多くの「笑顔と元気」をテーマに、神奈川よさこい組織委員会として提唱している「良い世さ来い」の輪を一層広げていきたいと考えています。

1 開催趣旨

- 市民主体の運営を主軸にする「市民祭」の形を構築し、横浜の経済・文化・市民活動等が総合的に発展することを目指します。
- 人のエネルギーや笑顔と元気の溢れる場を作り出すことで、観光地・横浜に新しい魅力を生み出し、「ふるさと神奈川・ふるさと横浜」の意識の高まりと、文化の発展に繋がることを目指します。
- 一般市民が様々な立場から参加できるよさこい祭りの開催は、地域の人と人を繋げ、その活動は市民や県民の生活をより豊かなものにします。
- 共催団体である神奈川よさこい組織委員会のネットワークを活かし、県内外からの参加者を募ることができます。
- 日本の真ん中に位置し、全国どの地域からも集まりやすい横浜。
また「古きを訪ね新しきを知る」文明開化の街として、日本各地でそれぞれに多様に発展したよさこい文化を広く受け入れると共に、海外にも日本の文化を発信し、交流する祭りを目指します。

2 開催概要

- ◆ イベント名 第四回『横浜よさこい祭り～良い世さ来い』
- ◆ 日時 平成 31 年 10 月 19 日(土) 20 日(日) 10:00～19:00 ≪雨天決行≫
※便宜上、元号は「平成」表記としている。
- ◆ 会場 19 日①馬車道通り ②馬車道広場
20 日①象の鼻パーク A エリア ②象の鼻パーク B エリア ③赤レンガパーク ④新港中央広場
- ◆ 主催 横浜よさこい祭り実行委員会／神奈川よさこい組織委員会
- ◆ 後援 神奈川県／横浜市教育委員会／横浜市文化観光局／横浜商工会議所／
※平成 30 実績 (財)横浜市文化振興財団／(財)横浜観光コンベンション・ビューロー／
(社)横浜青年会議所／(財)横浜市体育協会／tvk(テレビ神奈川)／
神奈川新聞社／FMヨコハマ／横浜アーツフェスティバル実行委員会／名取市
- ◆ 参加条件 観客に感動を与えられる演舞を目指し活動しているチームの皆様
- ◆ 参加チーム 祭り開催趣旨に賛同し、マナーある集団行動のできるチーム
- ◆ 参加動員数 約 2,000 人(約 55 チーム)
※過去実績: 第三回 1,932 名、第二回 1,547 名、第一回 1,150 名

3 開催詳細

- 参加チームを事前公募する
- 各会場演舞スペースは、観客観覧スペースと一般動線を考慮し設定する
- 総踊りワークショップを開催し、自由に参加できるコーナーを設け、観客が気軽に参加できるようにする
※神奈川4支部、横浜、相模原、湘南、小田原にそれぞれの地域の踊りの紹介など
- 海外チーム 2019 を結成し日本の祭りを体験し、交流する場を設ける
- フィナーレは、昨年に引き続き“中村あゆみ”とのよさこい大演舞を実施する
- 観客が審査する個人賞を設ける
- 子どもからシニアまでの全世代が参加者やボランティア等、様々な立場で祭りに携わる場を作る
- 参加者用男女別更衣室を用意する
- 参加費一人 1500 円(予定)を徴収し、運営費にあてる
- 企業協賛を募り、会場設営費にあてる
- 祭りの運営には一般から市民を募集する
※ボランティアの内容
①チーム受付 ②参加チーム誘導 ③観客誘導・会場整理 ④音響・MC ⑤給水 等々

4 広報宣伝

- ・神奈川よさこい組織委員会・横浜よさこい祭り公式ホームページからの情報公開と告知
- ・Facebook、Twitter、Instagram、ホームページなどの SNS での情報発信
- ・ポスター、チラシ作成 [配布先]スーパー等店舗、公共施設、市内の企業団体施設、学校など
- ・各会場関係ホームページ、横浜市内地域の広報紙への掲載依頼

5 波及効果

- ・踊りの文化の活性化が、各地域の活動の活性をもたらす
- ・よさこいは愛好者の年齢層の幅の広さが特徴であるため、年齢を超えた交流が活発であり、多方面への相乗効果は大きいと考える
- ・横浜・神奈川の地域、また県外を含め、普段交流のない他地域との繋がりにより意識の向上と文化活動への興味の促進が図れる
- ・県外からの参加者、お客さんの集客が見込まれる
※ 第三回は九州からの参加団体あり
- ・演者数×3～4 倍の集客が見込まれる
- ・昨年は中村あゆみさんブログでの紹介や、開催後、小田原箱根経済新聞への掲載などの実績あり

以 上

■ 神奈川よさこい組織委員会 ■

〈E-mail〉 kanagawa.yosakoi,soshiki@gmail.com

■ 横浜よさこい祭り実行委員会 ■

〈E-mail〉 yokohama.yoiyosakoi@gmail.com

〈HP〉 <http://yokohama-yosakoi.jimdo.com>